

第5部門 ユース



恐竜「大きなトカゲ」から「鳥のご先祖」へ たにぐち しおり 谷口 葉 (兵庫県) 17歳 ①

恐竜切手では、同じイグアナドンでも大きく違う図案があります。生きた恐竜を見た人はいません。復元図は化石等、研究が進むにつれて、形や姿勢が変化しているからです。切手の発行された時代によって、足が横に張り出していたのが真つすぐに伸びたり、引きずっていた尻尾が持ち上がったりと「大きくてのろまなトカゲ」から「俊敏な、鳥のご先祖様」のように変化しているのが興味深くて、まとめてみました。

恐竜


「大きなトカゲ」から
「鳥のご先祖」へ

生きて、動いている恐竜を見たことのある人はいません。復元図は想像の産物なのです。
切手でも、研究の進み具合によって変化した様子がわがべえます。



- 1、そもそも恐竜とは？
- 2、イグアナドンを例として
- 3 (1) ティラノサウルス  → 
- (2) トリケラトプス
- (3) ステゴサウルス
- 4、始祖鳥から鳥類へ

エダフォサウルス


約3億-約2億8000万年前
(古生代石炭紀後期-白垩紀前期)
蜥竜目・エダフォサウルス科



切手と見る足のつき方


→


上のエダフォサウルスの切手の横に以前は、恐竜の足のつき方は爬虫類と同じで胴体から横に出た、土が下に曲がっていると考えられていました。今では哺乳類の横足は胴体の下にのびていると考えられています。



ステゴサウルス

約1億5000万-約1億5000万年前
(後紀三畳紀)
装甲類



背中の板

今と恐竜の背中の板の研究が進むにつれて、180度の向きを上から横に変化し、せなかの板やとけは骨の形そのままだから、うしろの角のように骨のしんを角質のまやががわらうよなもへ変わりました。



鳥と恐竜の関係

約1億5000万年前


→


鳥類は羽毛が生えていた獣脚類の仲間から進化しました。今は鳥類は獣脚類の一部に含まれると考えられています。子孫ではなく恐竜なのです。

ちなみに、恐竜は陸上を歩いていた生き物のなので、空を飛ぶ鳥に似たアテラノドと成せは恐竜に含まれません。翼竜といひます。

